

Radio On The Street  
西谷文和  
**路上のラジオ**  
ファンクラブニュース  
3号 2020・4・30

発行責任者：西谷文和  
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33  
TEL 06-6170-4757 メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。



コロナ拡大後に安倍首相は「訪日してください」と訴えていた。北京の大使館HPで

結果として春節時の中国人旅行者は昨年を上回り、多くが北海道を旅行したため当初、北海道で感染者急増、知事が緊急事態を宣言したことは記憶に新しい

それは東京オリンピックと4月に予定されていた習近平国家主席の訪日。何が何でもオリンピックを開催したい安倍首相。そして中国との関係改善をアピールできれば支持率が上がる。この時首相は、「桜を見る会」で追い詰めていた。首相杯、アッキー杯で反社会集団が招かれたり、「安倍晋三後援会」が格安の前夜祭を開催したり、公金の私物化で首相のクビが飛ぶ

③ 続いて首相は「イベントの自粛」を要請した。そもそも首相が想定していたのは、プロ野球や大相撲、アーテイストのドームコンサートなど数千人から数万人の大規模イベントだった。

**自粛は必要、しかし科学的根拠も必要**

夫すれば開校できたところは多数だったと思われる。

「学校こそ一番安全な場所」と指摘。本来は「現場の柔軟な判断」こそが肝要。いわゆる「三密」を防ぎながら、教室を換気しながら、少人数学級で工夫すれば開校できたところは多数だったと思われる。

**新** 型コロナウイルスが猛威をふるっている。パンデミックを起して世界の感染者は4月15日の時点で200万人を超えた。米国やイタリアなどに比べて日本はまだマシだという意見もあるが、「日本は検査していない特殊な国」なので、本当の感染者数が明らかになっていないだけ。本当は今の10倍以上の感染者がいるのではないかとさえ言われている。

ここで今回のコロナ禍、特にアベ政治との関わりについて振り返ってみよう。

**コロナ、モリカケ、桜を見る会…生き残るためには安倍政権打倒しかない！**

**日本は初期対応を間違った**

① 中国の武漢市で感染者が確認されたのが昨年。今年1月9日に最初の死者が出る。感染者が急拡大して、1月23日に武漢市が封鎖された。この時点で日本政府は、北京の大使館ホームページに安倍首相を登場させ「春節の連休に（中略）多くの中国のみなさまが訪日されることを楽しみにしています」という談話を掲載していた。そしてこの談話は30日まで削除されなかった。



専門家の意見も聞かず、感染のなかった県まで休校に

この時点で素早く中国人の入国制限をしておれば、感染者の大爆発を招くことはなかっただろう。ではなぜ入国制限が遅れたのか？（実際に制限したのは3月5日から）

かもしれない事態。オリンピックと習近平で起死回生を図っていたのだ。

**② 独断で学校一斉休校に**

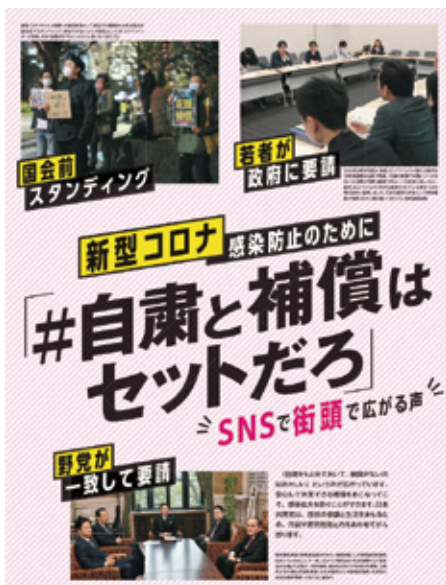
2月27日に突如として発表された「学校一斉休校」。感染症の専門家の意見も聞かず、首相個人の「独断」で要請された。そもそも休校するか否か、については教育委員会が決定するものであり、政治家は教育現場に命令できないのだ。これは戦前、政治が教育に介入しあの侵略戦争につながった苦い経験から、独立した行政機関としての教育委員会が作られたのである。こんな「越権行為」は無視すべきだったが、「日本全国ソナタク病」にかかっていた地方自治体は首相の命令を受け入れなかった。この時点で感染者が出ていない都道府県もあったし、工夫して開校を考えていた自治体もあった。文科省元事務次官の寺脇研氏は「学校こそ一番安全な場所」と指摘。本来は「現場の柔軟な判断」こそが肝要。いわゆる「三密」を防ぎながら、教室を換気しながら、少人数学級で工夫すれば開校できたところは多数だったと思われる。

ところが「日本全国ソentak病」に侵されている地方自治体や民間企業は、わずか50人、100人規模のイベントも自粛してしまったのだ。

イベントの自粛を要請するならば、人数の規模を示すべきだった。フランスは当初「千人以上のイベント自粛」を求め、感染者が急増してから「100人以上」に改めた。自粛を求めるのなら専門家の意見を聞き、科学的知見に基づく具体的な指標を示すべきだったと考える。

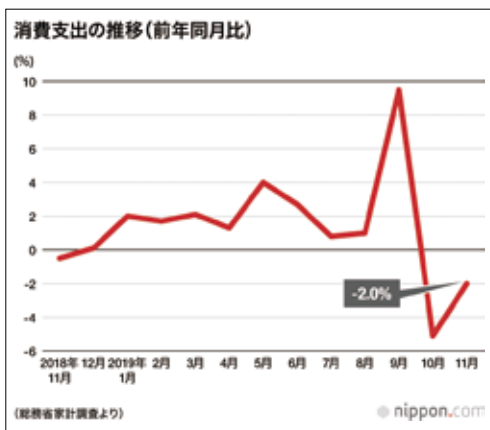
### 自粛と補償はセットのはずだ

4 自粛と補償はセットのはずだ。居酒屋、バー、遊戯施設など、政府の自粛要請で倒産・廃業の危機に陥った業者、労働者があふれている。安倍首相は108兆円の予算を組んだと胸を張るが、困っている人々に届く「真水」部分は、わずか16兆円だと言われている。国民の強い怒りに突き上げられて、政府はようやく一律10万円の給付に踏み切った。これはこれで評価す



野党は共同して自粛と補償のセットを求めている

る。14年に5%から8%になり、経済はさらにガクンと落ち込む。そして19年10月に10%になり、GDPはマイナス7.1%！つまり「コロナがなくても消費税を5%に戻さなければ死屍累々」状態だった。そもそも「税金は富の再分配」で、累進課税の所得税こそ公平な税制。その意味で



10%で冷え込んだ消費。その上にコロナで大恐慌?

### 今こそ消費税をゼロに

5 消費税をいったん廃止しなければ、日本経済は終わってしまう。97年に3%から5%に引き上げられてから、日本は深刻なデフレに陥っている。14年に5%から8%になり、経済はさらにガクンと落ち込む。そして19年10月に10%になり、GDPはマイナス7.1%！つまり「コロナがなくても消費税を5%に戻さなければ死屍累々」状態だった。そもそも「税金は富の再分配」で、累進課税の所得税こそ公平な税制。その意味で

森友問題・財務省・アベ首相  
それが「森友問題」だ。公文書の偽造、職員の内閣で出た森友問題。これは財務省がドロをかぶって首相を守りきった事件だ。そして財務省は「予算のプライマリーバランス」を最重視する役所で、消費税の廃止など全く論外だと考えている。困窮者を放置して、マスク2枚配布ですませようとする「どケチ内閣」は「今だけ、アベだ

F35に総額6兆円!これをやめれば一律10万円の配布は可能

「路上のラジオ」では今後以上のことを訴えていきます。こんな内容を放送するのでスポンサーはつきません(泣)。ですので、みなさんからの募金をどうぞよろしく願います。

6 結論。いち早く安倍政権を打倒し、自粛と補償をセットにした「国民救済内閣」を作ること。消費税をゼロにして、富裕層・大企業から徴税する方策を考えること。当面、赤字国債を発行して日本経済を救うこと。戦闘機F35やイーシスアシヨア、辺野古新基地建設、思いやり予算など、不要不急の防衛予算をバツサリ削り、中小業者、フリーランスを救済すること。

あなたのご寄付で発信を続ける  
「路上のラジオ」  
ご支援よろしく願います

【寄付の宛先】

口座番号	ゆうちょ銀行 00950-6-238014 近畿労働金庫 吹田支店 普通 8788810
口座名義	路上のラジオ (ロジヨウラジオ)



# イラク&ホルムズ海峡 最新取材報告

**犠牲になるのは女性と子ども**

2020年2月、北イラクのチャムチャマル市に入った。この街の郊外に「ジャン・フアンデーション」というクリニックがあり、14名の女性と7名の子供が生活していた。ここは強烈なトラウマに襲われている女性と子ども  
の一時保護センター。保護されている14名の女性は全てヤジディー教徒で、  
IS（イスラム国）によって奴隷妻に  
されていた人々だ。14年7月、ISは  
ヤジディー教徒の村を襲った。男性は



証言してくれたムラドさんと娘のディヤラちゃん

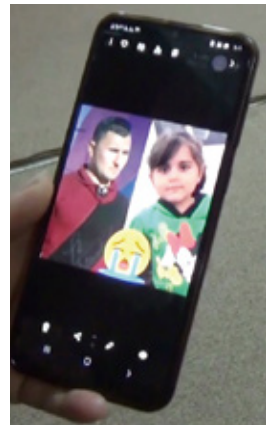
殺され、女性はIS支配地域に連れ去られた。その後、女性たちはIS兵士の妻としてあてがわれ、複数の兵士の「所有物」になった。

自らが受けた「性暴力」について証言することは困難だ。触れられたくないことを聞かれるし、その体験がフラッシュバックして、PTSDが悪化することにもなりかねない。しかし「その体験」を広く伝えることでISの非道さ、戦争の理不尽さが伝わる。趣旨を理解してカメラの前に立ってくれたのがアディバ・ムラドさん(23)だった。(写真)

## 5年間で3度結婚させられる

ISがやってきた時彼女は17歳、新婚10ヶ月で妊娠していた。夫妻は別々に監禁され、夫はそれ以来行方不明。彼女はシリアのラッカに連れて行かれ、最初のIS兵士(当時25歳)の奴隷妻にされる。妊娠していた彼女は無事にディヤラちゃんを出産、その後兵士との間に息子が生まれる。2年後、ラッカで別の兵士(当時26歳)の奴隷妻にされ妊娠させられたが、この時は流産。さらに3年後、モスルに連れて

こられて3番目のIS兵士(当時32歳)の妻にされる。



本当の夫は行方不明

## 身代金を支払って

そんな地獄の生活に転機が訪れる。17年ごろから本格的なIS掃討作戦が始まり、ISが劣勢に立たされていく。戦争を継続するためには金がいる。資金に苦しむISが奴隷妻と金の交換に方針を変えていくのだ。彼女は初めて家族に電話することを許される。交渉の末、家族が8千ドル(880万円)の身代金を支払うことで合意。昨年10月、丸5年の屈辱からようやく解放される。彼女とディヤラちゃんは難民キャンプへ、息子イブラヒム(3)はシリアに残した。息子には会いたくないという。「IS兵士をどう思ってるの?」「許さない、殺してやりたい」。

## またキャンプに戻らねばならない

ここでの生活はわずか1ヶ月。1ヶ月後にはキャンプに戻る。約3千名の女性たちが同じような体験を強いられた。そして解放されたのが約1500名。あまりにも多数の女性が心に傷を

負ってしまった。ここでのリハビリは1ヶ月交代なのだ。「本当の夫」の写真はあるの? はい、うなずいた彼女はポケットからスマホを取り出した。スマホを操作する姿は、そのあたりの女子学生とならんら変わりはない。愛する人の横には涙の絵文字。(写真)

## ホルムズ海峡に入った

イラクを離れ、ホルムズ海峡へ。地元住民用の定期船に乗り込み、海峡を隠し撮り。イランとオマーンの間はわずか60キロ。そこは「タンカー、大型貨物船銀座」だった。(写真)

自衛隊はまさにこの海にやってきた。「調査研究」目的の派兵であるが、その「調査した結果」は米軍に提供される。イランは「米国の同盟軍も敵とみなす」と言っている。19年6月に日本タンカーが襲撃された事件もあっ



ホルムズ海峡はタンカー銀座だった

た。(犯人は不明) 365日24時間、相当な数の船が通行する。これら全てを軍事的に守ることは不可能。米国とイランの間に立って平和外交で争いを鎮めることが日本の立ち位置であるはず。その方が狙われないし、税金も使わない。

## 矛盾だらけの中東派兵

そもそも今回の中東派兵は、①憲法9条に違反している。②根拠となる法律を作っていない。③国会で議論していない。という例のなかつた形で決定されている。日本は憲法9条の精神に立ち返って、平和外交と和平交渉の仲介者になるべきだ。そのためにはリーダーを変えないといけない。一刻も早く政権を交代させる必要がある。

## 国鉄民営化と原発、そして森友

コロナの影にすっかり隠れてしまった感のある森友問題。自死された赤木さんは元国鉄職員だった。87年の国鉄民営化の際、「余剰だ」として約10万人が切り捨てに。多くは清算事業団に行き、喫茶店や駅ナカうどん店などで働かされた。この時赤木さんは財務省に転職することができて、働きながら夜間大学で法律を学び、近畿財務局の第一線でバリバリ仕事をされていた。同僚によれば、明るく元気でテキパキ仕事をする好青年だったそうだ。17年2月、佐川局長の命令で公文書を改ざん。その後の会計検査で、鬱の症状が始める。7月の人事異動に期

待していた赤木さん。ふたを開けると、指示した上司は全て異動。赤木さんだけが残留。つまり「赤木は財務省が救ってやった外様でノンキャリア。あいつ一人に責任をかぶせて、俺たちは逃げよ」ということ。この後、赤木さんは大阪地検の取り調べを受け、「玄関に検事が立っている」など幻覚を見るようになり、18年3月に遺書を残して自死。国鉄民営化で労働組合を解体したのが中曽根首相。彼は読売新聞社主の正力松太郎とコンビで原発を推進。民営化から30年後、血眼になって原発を輸出していた安倍首相のもとで赤木さんは殺された。この日本、何が狂っている。

## 編集長のひとり言

ジョンソン英首相が新型コロナで入院、ICUから生還し退院を遂げたとき、すてきなコメントを発信しました。皆さんもご覧になったと思いますが、世話になった医療従事者ひとりひとりの「名前」を呼んで感謝を述べました。間接的に世話になった末端の例えば病院の清掃員にも配慮したコメントには心が温まったのですが、そのひとりひとりの「名前」に私は心が震えました。ジョンソン首相の政治手腕はともかくも、その時には生死を彷徨った人間の口から自然に出た真実の言葉を聴いたように思えました。

記憶がありました。小学生の頃、体育で使う体操服にゼッケンを縫い付けてくれた母が「大切な息子を番号で呼ばれたくないな」とつぶやいたこと。時は過ぎ大人になって、どこか潜在的にそんな記憶があったのか、マイナンバー制度が強行されたとき、強く反発したものです。国民総背番号、いつか個人の尊厳が無機的な数字によって区分けされ粗末に扱われるに決まっている。「もう戦争はいやだな」と言っていた母の言葉ともシンクロしました。

私たちはそれぞれにかけがえのない人格を持った個。誰でもないそのひとりの暮らしをどれだけリアルにイメージできるかが、政治にとつてとても大切なことだと私は思います。今コロナ禍の中にあつて「国民」が「一丸」となつて、とよく言われます。しかし「国民」とは個の集まりなのであり、「美しい国ニッポン」はジョークに近いですが、美しい花束になるには一輪一輪の花が輝いている必要があるはず。民主主義が死に行く昨今、私の親しき人たちは皆、民主主義とは多数決ではなく合意形成だと叫び続けます。ひとりひとりがすてきな「名前」をもつた個ではないか。その名前を丁寧に呼びたい。大切にされたら今度は他の誰かを労わることを覚えるでしょう？それが穏やかな社会を取り戻す底力であると信じたい。絵空事でしようか？(ディレクター・山本素)

### 【2019年度会計報告】

<収入の部>		<支出の部>		<収支残高>
募金	1,599,133円	印刷・郵送費	38,050円	210,615円
イベント収入	182,714円	ゲスト交通費	80,000円	
収入合計	1,781,847円	WEB運営費	427,140円	
		番組制作費	1,026,042円	
		支出合計	1,571,232円	

初年度2019年は、上記の通り、皆さまのあたたかいご支援のおかげ様をもちまして、何とかぎりぎりやって来られました。厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。これからもできる限り長くこの活動を続けて参りたいと思います。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

「路上のラジオ」事務局  
西谷文和・スタッフ一同

### 編集後記

政府のコロナ対策は「家で動かず、そのまま死んでください」というべきもの。この状況に我慢ならず、緊急発作的に(笑)「路上のテレビ」を発信することに。まずは内田樹さんとの「ソントクなし・過激トーク」をネットにアップ。ぜひご覧くださいね。